

「枕草子 ―かたはらいたきもの―」

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

かたはらいたきもの、よくも音弾きとどめぬ

琴を、1よくも調べで、心の限り弾きたてたる。

客人などに会ひてももの言ふに、奥の方にうちと

け言など言ふを、2えは制せで聞く心地。3思

ふ人のいたく酔ひて、同じことしたる。聞きみ

たりけるを知らで、人のうへ言ひたる。4それ

は、何ばかりの人ならねど、使ふ人などだにい

とかたはらいたし。

旅立ちたる所にて、下衆どものざれみたる。

5にくげなるちごを、おのが心地のかなしきま

まに、うつくしみ、かなしがり、これが声のま

まに、言ひたることなど語りたる。才ある人の

前にて、才なき人の、ものおぼえ声に人の名な

ど言ひたる。ことによしともおぼえぬわが歌を、

人に語りて、人のほめなどしたるよし言ふも、

かたはらいたし。

問一 傍線1「よくも調べで、心の限り弾きたてたる。」とあるが、この後にどのような言葉が省略されているか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問二 傍線2「えは制せで聞く心地。」とあるが、どのような気持ちか。そのことを説明した次の文の空欄に、適当な言葉を補え。

そばで聞いていて苦々しく感じられ、
「
」する気持ち。

問三 傍線3「思ふ人」は男性と思われるが、なぜか。その根拠となる箇所を本文中から五字程度で抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--

問四 傍線4「それは、何ばかりの人ならねど」とあるが、「それ」とはどのような人をさしているか。現代語で答えなさい。

「

」

問五 傍線5「にくげなるちごを、おのが心地のかなしきままに、うつくしみ、かなしがり、これが声のままに、言ひたることなど語りたる。」とあるが、これと同じように、現代でも、親が子供をかわいがるあまりに愚かな行為をしたり、子供の欠点を認識せずに実質以上に評価したりすることはよくあることである。このようなことを、今日のどのような言葉で言い表されているか。三文字で答えなさい。

--	--	--

問六 この文章は九つの文から成っているが、「かたはらいたきもの」の事例は八つである。事例にあたる主文を補足説明した従属文が一つあるが、その文の始めと終わりの三文字を抜き出しなさい。

--	--	--

問七 八つの事例のうち、おもしろからぬ言行をしたのが第三者ではなく、自分自身であるため、内省して気恥ずかしくきまり悪く思う事例がある。その一文の始めと終わりの三文字を抜き出せ。

--	--	--

● 解答 ●

- 1 いとかたはらいたし（かたはらいたし）
- 2 はらはら
- 3 いたく酔ひて
- 4 うわさをされる当人。
- 5 親ばか
- 6 それは、何ばかりの人ならねど、使ふ人などだにいとかたはらいたし。
- 7 聞きゐたりけるを知らで、人のうへ言ひたる。